

市場の活性に上振れを期待 今秋11月に製品保管倉庫が竣工



原 正憲社長

「熱交換技術を通じ、豊かな生活に貢献するというメッセージを経営理念に置くユニットクーラー・熱交換器の専門メー

カ」、原製作所(社長: 原正憲氏、本社・茨城県

稲敷市下根本7940-1)

の昨年8月の2022年度決算は前年対比で減収減益となつたが、理由としては高まる受注環境である一方、資材高騰などの影響で建築等の立ち上がりが遅れ、期内での計上が果たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も持ち越し案件の消化を含めた受注残の山が今年2月末まで連続して続いている状況だ。

秋11月の竣工を目指す同保管倉庫は本社・稲敷工場からは2・3キロに位置し、車両で5分といつた立地。昨年秋よりボーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身

(収益)については安定

した数値を捉えている。

昨年9月以降の新年度も

持ち越し案件の消化を含

めた受注残の山が今年2

月末まで連続して続

いている状況だ。

同保管倉庫は本社・稲敷

工場からは2・3キロに

位置し、車両で5分といつ

た立地。昨年秋よりボ

ーリング工事を開始した。

総敷地面積は452

7・70平方メートル(約140

0坪)に建蔽率27・34%

で建築面積は1237・

50平方メートル(約380坪)

で建築。延床面積も同

様。9階級の高天井鉄骨

造りとなる。所有地は大

たせない案件が期跨ぎとなつてあるといつた。昨頭在化している問題に因しているからだ。

原製作所においては2

017年から2023年

までの7年間に渡り、前

期を更新する形で売上を

伸ばしコロナ禍中であつた2023年度(2022年9月~2023年8月)が過去最

高売上をマークした。

以降は、ほぼ横ばいの

状態で推移するも中身